



平成25年3月19日
国土交通省中部地方整備局
港湾空港部

お知らせ

南海トラフの巨大地震・津波に備え、港湾の防災・減災対策を推進

～名古屋港運協会の会員を対象に、地震・津波対策の取り組みについて講演します～

中部地方整備局では、南海トラフの巨大地震・津波に対する港湾の防災・減災対策を推進するため、管内の主要港湾における地元の官民関係者で構成する各種会議を開催し、港湾施設の整備状況に関する情報提供や避難誘導計画並びに港湾BCPの検討状況等、ハード・ソフト対策の両面から議論を進めているところです。

今回、名古屋港運協会が会員を対象に開催する第1回地震・津波対策勉強会において、当局が地震・津波対策における国・地方の取り組み状況について講演し、本取り組みに基づく関係者の役割・対応等について意見交換を行います。

1. 日時 : 平成25年3月22日(金) 13時30分～15時30分
2. 場所 : 名古屋港湾会館 第1会議室 (2階)
3. 演題 : 中部の港湾における巨大地震及び津波対策について
—国・地方の取り組みと港湾BCP—
 - (1) 国全体と中部圏での地震・津波対策の動き
 - (2) 名古屋港での地震・津波対策の動き
 - (3) 地震・津波・高潮の基礎的知識
4. 講師 : 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部
港湾物流企画室長 嶋倉康夫
5. 取材 : 写真撮影・傍聴につきましては冒頭の挨拶までとし、これ以後の傍聴は不可とさせていただきます。なお、本勉強会の概要については、本勉強会終了後、担当者より概要を説明させていただきます。
6. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス
7. 問い合わせ先 : 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 嶋倉
TEL: 052-651-6490

平成25年3月19日
名古屋港運協会

南海トラフの巨大地震・津波に備え、 地震・津波対策勉強会を開催します

名古屋港は総取扱貨物量、貿易黒字額共に我国の港湾の中で第一位を誇り、背後圏である中部地域のものづくり産業と暮らしを支えるのみならず、日本経済の発展に大きく貢献しております。

当協会は、名古屋港の港湾運送業務を担っている事業者の団体で、会員事業者は海陸の輸送を円滑かつ確実に結びつける役割を果たしております。

平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、地震・津波等の災害に対する防災・減災対策の重要性が再認識されている中で、この地域は、東海・東南海地震及び南海トラフ巨大地震が想定されており、港湾運送事業の役割を確実に果たすために、防災・減災対策に関する取り組みをより一層推進することが必要と考えております。

そこで、当協会としては、地震・津波対策に関する国や地方公共団体の取り組みを把握すると共に、その取り組みに基づく関係者の役割・対応方法等について検討するために、国土交通省中部地方整備局のご協力を得て、以下のとおり、地震・津波対策勉強会を開催します。

1. 日 時 : 平成25年3月22日(金) 13時30分～15時30分
2. 場 所 : 名古屋港湾会館 第1会議室 (2階)
3. 演 題 : 中部の港湾における巨大地震及び津波対策について
—国・地方の取り組みと港湾BCP—
(1)国全体と中部圏での地震・津波対策の動き
(2)名古屋港での地震・津波対策の動き
(3)地震・津波・高潮の基礎的知識
4. 取 材 : 写真撮影・傍聴につきましては冒頭の挨拶までとし、これ以後の傍聴は不可とさせていただきます。なお、本勉強会の概要については、本勉強会終了後、担当者より概要を説明させていただきます。
5. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス
6. 問い合わせ先 : 名古屋港運協会 稲熊、吉田
TEL: 052-661-9771(代)

